

第八十二回帝國議會
衆議院

東京都制案委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案
東京都制案(政府提出)(第四號)

昭和十八年二月十七日(水曜日)午前十時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清瀨 一郎君

理事今牧 嘉雄君 理事菅野和太郎君

理事木下 義介君 理事中村 梅吉君

理事永山 忠則君

安藤 覺君 赤松 寅七君

荒川 眞郷君 今井 嘉幸君

今尾 登君 牛塚虎太郎君

加藤鏐五郎君 川崎末五郎君

川口 壽君 木崎 爲之君

窪井 義道君 坂本 一角君

四王天延孝君 田中和一郎君

田邊徳五郎君 田万 清臣君

谷原 公君 富田愛次郎君

中井 一夫君 長野 高一君

花村 四郎君 本多 市郎君

松永 東君 山田 竹治君

山野 平一君

出席政府委員左ノ如シ

内務次官 山崎 巖君

内務省地方局長 古井 喜實君

内務書記官 中島 賢藏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

東京都制案(政府提出)

○清瀨委員長 是ヨリ開會致シマス——本

多市郎君

○本多(市)委員 私ハ先般總論的ナ質問ヲ

シテ、各論的質問ニ付テハ後廻シニスルト

云フコトヲ保留致シテ居ツタノデアリマス

ガ、私ノ各論的ナ點トシテ尋ネタイト思フ點ハ、概ネ同僚ノ議員カラ質問ガアリマシテ、ソレニ對シテ御答辯ガアリ、見解ノ相違スル點ハアリマスアレドモ、殆ド觸レラレテ居リマスノデ、重複スル點ハ全部之ヲ避ケマシテ、マダ質疑ガ試ミラレテ居ナイト思フ點ニ付テ私ノ御伺ヒシタイ點ヲ御尋ネシタイト思ヒマス、其ノ前ニ一寸私ハ御願ヒ致シテ置キタイ希望ガアリマスノデ、ソレヲ先ニ簡單ニ述ベサセテ戴キタイト思ヒマス、ゾレハ都長官ノ任命ノ方式ニ付キマシテ、私ハ都議會ノ推薦ト云フコトニ付テ御考慮願ヘナイモノデアラウカト云フコトヲ前回申上ゲタノデアリマシタガ、之ニ對シマシテ内務大臣ハ、之ヲ法律ヲ以テ制度ノ上ニ制定スルト云フコトハ困難デアル、併シ運用ノ上ニ於テ、都民ノ意思ヲ尊重シテ都長官ヲ奏請スルト云フコトハ十分其ノ趣旨デ行ク積リデアルト云フ話ヲセラレタノデアリマス、制度ノ上ニサウ云フヤウニ設ケルコトガ困難デアリマシタナラバ、運用ノ點ニ於テ是非サウ云フ風ニシテ戴キタイト思フノデアリマス、其ノ運用ノ方法ト致シマシテ、都民ノ意思ヲ尊重スルト云フコトハ、結局都議會ノ意思ヲ諮フト云フコトニナルノデアリマスガ、サウ云フ方法デ都議會ノ意思ヲ諮ウテ、サウシテ都長官ノ候補者ノ奏請ヲヤラレト云フヤウナコトニ付テ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカト云フコトヲ御伺ヒシ、希望ト致シマシテ、是非一ツサウ云フヤウナ工夫ニ付テ一段ノ御研究ヲ願ヒタイ、斯ク考ヘテ居ルノデア

リマス、實ハ都長官ニ關スル都議會ノ推薦制度ニ付テハ相當研究サレタ方ノ論說モアリマシテ、結局是ハ最後のニ獨自ノ立場デ任命ニナルノデアアルカラ、都長ノ候補者ニ付テ都議會ガ内務大臣ノ求メニ應ジテ推薦シテモ、決シテ憲法上ノ大權ノ干犯ニハナラナイモノデアルト云フ論旨ガアルノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ此處デ論議致シテ居リマス、相當長時間ヲ要シマスカラ、是ハ全部本日ハ私ハ省略致シマスガ、只今申シマシタヤウニ、都民ノ意思ヲ尊重スルト云フ意味カラ都議會ノ意見ヲ尊重シ其ノ意見ヲ聽クト云フヤウナコトニ付テ、運用上ニ於テサウ云フヤウナコトヲ御考ヘ願ヘヌモノデアアルカドウカ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

ニ据エタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○本多(市)委員 實ハ先日ノ内務大臣ノ御答辯ハ、都民ノ意思ヲ尊重シテト云フヤウナ御趣旨デアツタト思ヒマシタノデ、其ノ意味カラ只今申上ゲタコトヲ御伺ヒシタノデゴザイマスガ、實ハ帝都市民ノ間ニハ、此ノ場合暫定的ノモノトシテ官選都長已ムヲ得ナイガ、將來ハ是非一ツ市民トノ繋ガリノアル方法ニ依ツテ都長ガ選任セラレリヤウニト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデ、ドウカ運用ノ上ニ於テ、又制度改正ノ點ニ於テモ御考慮ト御研究、御工夫ヲ將來ニ付テ御願ヒシテ置ク次第デアリマス

次ニ御伺ヒシタイノハ、都會ノ會期主義ニ付テデアリマス、都會ハ重要問題ノアル度毎ニ隨時都長ノ請求ニ依ツテ開イテ相談ガ出來ルト云フ風ヲ建前ノ方ガ、實際複雑ナ都會運営ノ上ニ於テ便利デアル、只今申シタヤウナコトノ方ガ都政ニ即シテ居ルヤウニ考ヘルガ、會期主義ヲ執ルト、其ノ點ガ非常ニ窮屈ニナルヤウニ考ヘラレノデアリマシテ、ソレハドウ云フヤウナ點ニ長短ガアルノデアリマス

○古井政府委員 都議會ノ會期制ノ問題ハ、御話ノ如ク只今ノ案ニ於テモ必要アル場合ハ都議會ヲ何時デモ開ケル譯デアリマシテ、必要アル事件デアレバ臨時會ヲ開クト云フコトニ付テハ、實際上ニハ支障ハ何モナイガラウト思フノデアリマス、唯問題ハ會期制度ヲ決メナイデ、所謂開キ放シニシテ置クコトヲ今度ノ改正案ハ認メテ居ナイト云

第六類第四號 東京都制案委員會會議錄 第十一回 昭和十八年二月十七日

一四九

フ點デアリマシテ、此ノ點ニ於テハ現在ノ府縣ノ制度モアリマスシ、又今回ノ市制改正案ニ於テモ同様ニ相成ツテ居ル譯デアリマスガ、實際上ノ支障モ一向アリマセシ、他ノ制度トノ均衡モアリマスシ、斯様ニ致スノガ適當デアラウト考ヘテ居ル譯デアリマス

○本多(市)委員 私共ハ東京市會ノ實情ヲ今日マデ見テ居リマシテ、今會期主義デモ何等差支ヘハナイト云フ御話デアリマシタガ、東京市會ノヤウナリ方デモ少シモ差支ヘナイノミナラズ、非常ニ圓滑ニ實情ニ即シテ行ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ見解ノ相違カトモ思ヒマスガ、是ハ改正市制ノ關係モ同じ理由ニ基クモノデアルト思ヒマスカラ、其ノ方ト協調シテ考慮スベキコトデアルト考ヘテ居リマス

次ニ御伺ヒシタイコトハ、從前認メラレテ居ツタ豫算ニ對スル都會ノ増額決議ハ出來ナイト云フコトニ明白ニ規定セラレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ點ハドウ云フ理由ニ依ツテ特ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケラレタモノデアルカ、更ニ其ノ意味ハ豫算總額ニ付テノ増額ノ意味デアルカ、款項目ノ流用ニ依ル修正ナラバ認メラレト云フ御趣旨デアリマスカ

○古井政府委員 豫算ノ増額修正ヲ認メナイト云フ案ニナツテ居リマス點ハ、豫算ノ性質論カラ參ツテ居リマス、豫算ハ規定上ニモ既ニハツキリ出テ居リマシヤウニ、理事者ニ於テ調整シテ、同意ヲ得ル意味ニ於テ都議會等ノ議決ヲ經ル事柄ニナツテ居ルヤウニ思ヒマス、即チ一年間ノ大體ノ事業ノ見込、ソレニ對スル收入支出ノ按配ノ見込、之ヲ自治機關ニ於テ立テル、是ガ豫算デ

アリマシテ、ソレニ付テ同意ヲ得ル意味合ニ於テ議決ヲ經ルト云フコトニナツテ居ル譯デアリマス、此ノ豫算ノ性質カラ考ヘマシテ、解釋ノ上ニ於キマシテモ、豫算ノ増額ト云フ議決ハ出來ナイノデハナイカト云フ議論モ從來カラアルノデアリマス、或ハ其ノ解釋ガ正シイノカモ知レマセヌケレドモ、何分相當長イ間ノ實例モアルコトデアリマスノデ、法ノ上デ以テ明確ニ致シタイト云フコトガ根本デアリマス、殊ニ豫算ノ性質ガ左様デアリマス爲ニ、昭和四年ノ地方制度ノ改正ノ際ニ地方議會ニ於テ發案權ヲ認メマシタ場合ニモ、豫算ニ限ツテ發案權ハ理事者デナケレバナラナイト云フコトデ、地方議會ノ發案權ニモ除外シテ居ルヤウナ

譯デアリマシテ、是ハ同ジ豫算ノ性質論カラ來テ居ルト思フノデアリマス、ソレガ根本デアリマス、又豫算ノ増額ト云フコトト豫算ニ於ケル新シイ項目ノ發案ト云フ二ツノ問題ガ豫算ニ付テアル譯デアリマス、即チ豫算ノ議決ニ當ツテ新シイ事柄ヲ加ヘテ議決ヲ致シマスコトハ、今日ニ於テモ是ハ發案ニ屬スルト云フコトデアリマス、議決ガ許サレナイト云フ事柄ニナツテ居リマス、所ガ財政的ニ見マス、僅カナ金額ノコトデアツテモ新シイ事項ガ加ハレバ是ハイケナイ、大キナ金額デアツテモ増額デアレバ一向差支ヘナイ、斯ウ云フコトハ、財政的ニ見テモ均衡ヲ得ナイ解釋ノ結果ニナルト考ヘルノデアリマシテ、新シイ發案ノ點ト増額ノ點トヲ財政的ニ見テ取扱フ二ニスル理由ガナイト云フコトモ一ツノ點デアリマス、又豫算ノ増強ニ付キマシテハ、場合ニ依ツテ弊害ト云フコトモ論ゼラレテ居ル點モアリマス、併シナガラ根本ハ豫算ノ性質論カ

ラ參ツテ居リマス、ソレカラ増額ノ意味デアリマスガ、豫算ノ總額ヲ殖ヤスコトカドウカト云フ御尋ネデアリマスガ、豫算ハ制度上款項カラ、成立ツテ居リマスノデ、款項ヲ本ニシマシテ、サウシテ款項ノ金額ヲ増額スルト云フコトガ豫算ノ増額デアルト云フ解釋ヲ執ツテ居リマス

○本多(市)委員 新規ノ款項目ヲ設ケズシテ、目ノ間ニ於ケル流用ハ如何デゴザイマスカルカ、古井政府委員 款項ノ金額其ノモノハ増額ニナラナイデ、項ノ中ニ於テ片方ノ目ガ減ツテ一方ノ目ガ殖エル、是ハ實ハ目節ハ法律的ニ申シマスト豫算自體デアリマセヌ、豫算説明デアリマスノデ、豫算説明ニ付テノ一ツノ意見ノ表明ト云フ意味ニナラウカト思ヒマス、事柄ガ元々豫算自體ノ議決ト云フモノデナイト思ヒマスノデ、豫算ニ關係シタ意見ノ表明ト云フ事柄デ、是ハ一向差支ヘナイト存ジマス

○本多(市)委員 次ニモウ一點ダケ御伺ヒ致シマス、今回ノ都制ニ新シイ制度トシテ御參與ト云フモノガ設ケラレテ居ルノデアリマス、從來東京市政ノ上ニ於テ市參與ト云フ制度ガアリマシタケレドモ、是ト大分性格ノ異ナルモノデアリヤウニ考ヘラレマシテ、此ノ都參與ノ性格ニ付テハ、今日市民ノ注目シテ居ル所デゴザイマス、從來市參與ハ濫濫子爵ガ市參與デアラレタコトガアリマスガ、ソレ以來市參與ト云フモノハ、制度ガアツテモ東京市ニハナカツタノデアリマシテ、ソレトハ大分性質ガ違ヒ、數ノ點ニ於テモ運用ノ點ニ於テモ違フヤウデアリマスガ、此ノ際都參與ノ性格、ソレカラ都參與ノ職務權限、ソレカラ都參與ノ運用方針、斯ウ云フ點ニ付テ、新シイ制度デモ

アリマスノデ、十分諒解ノ出來ルヤウニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、特ニ都參與ノ運用方針ニ付テハ、數多イ位御置キニナツテ、之ヲ都參與ノ會トシテ運用セラレルノデアルカ、從來ノ市參與ノヤウニ個々ニ意見ヲ問フト云フ建前ニナルノデアルカ、丁度東京市ニハ顧問ト云フヤウナモノモアリマシタガ、サウ云フ風ニセラレルノデア

ルカ、都參與ヲ多數囑託セラレマシテ、會ヲ開イテ、都參與ノ會或ハ其ノ決議ト云フヤウナ方法デ運用セラレルノデアルカ、此ノ性格、職務權限、運用方針等ニ付テ此ノ際詳シク一ツ御説明ヲ御願ヒ致シタイ

○古井政府委員 今回ノ都制案ニ於キマスル都參與ノ制度ハ趣旨カラ申シマス、都長官ノ謂ハバ最高顧問ト云フ趣旨デアリマス、從前ノ市參與ノ制度ハ、特別ナ大事業ヲ經營スル場合ニ、ソレノ擔當者トシテ參與ヲ置クト云フ意味合ニ於テ制度ヲ認メラレテ居ツタノデアリマスガ、從前ノ市參與ノ制度トハ全然性格ノ違フモノデアリマシテ、最高顧問ト云フ趣旨デ以テ今回都參與ハ考ヘラレテ居ルノデアリマス、隨テ都參與ノ職務權限ハ都長官ノ諮問ニ應ジテ都行政ニ關スル重要事項ニ付テ色々相談ニ應ズルト云フコトデアリマシテ、都長官ノ相談相手デアリマス、運用ノ上ニ於キマシテ之ヲドウ云フ數デ、ドウ云フ形デ置カト云フ問題ガ起ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ都參與ノ數ハ今回ノ參與制度ノ趣旨カラ見マシテ、數ガ餘リ多數デアアルコトハ趣旨ニ合ハナイト考ヘテ居リマス、是ハ餘リ多數デナイ、比較的限局セラレタ少數ヲ置クコトガ適當デアラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、今吾々ノ考ヘテ居ル所デハ數

名程度が適當デアラウト思ツテ居リマス、
尙ホ都參與ヲ合議體的ニ置クカ、或ハ個別
的ニ置クカト云フ問題デアリマス、是ハ事
柄ニ依ツテ實際ノ必要ニ應ジテ、何レノ形
ヲ執ルコトモ出來ルカト考ヘテ居リマス、
此ノ點ハドウ云フ具體ノ形ヲ置クカト云フ
問題ハ百六條ノ末項ノ規定ニ依リマシテ、
都長官ガ内務大臣ノ許可ヲ得テ具體的ニ定
メルト云フコトニ相成ツテ居ルト存ジテ居
リマス

○本多(市)委員 都參與ノ性格ハ能ク分リ
マシタ、其ノ性格カラ見マシテ、是ハ都議
會議員ナドハ都參與ニナル場合ガ全然ナ
イト云フコトガ分リマシタ、次ニ都委員ト云
フモノヲ御置キニナルヤウデゴザイマスガ、
從來東京市ニ於テモ委員制ガアリマシテ、市
ノ方デハ條例ヲ以テ十五カノ常設委員ヲ設
ケテ居リマス、此ノ都委員ハ調査目的ト
シテ居ラレルヤウデアリマスガ、是ハヤハ
リ現在市ニアル市ノ常設委員ノヤウナモノ
デアルノカドウカ、サウダトスルト、ソレ
ニハ都議會議員ガ多數入りマシテ都制ノ常
時調査ヲヤルト云フヤウナ制度ニナルノデ
アルカドウカト云フ點デアリマス、是ハ都
議會議員ト一般學識經驗アル人ト兩方カラ
入ルモノデアルカ、其ノ都會議員ハ全然除
外サレルモノデアルカ、ソレカラ又運營ノ
方法ハ都參與ニ付テ御伺ヒシマシタト同ジ
ニ、會トシテ合議的ニヤラレルモノデア
ルカ、個々ニ利用セラレルモノデア
ルカト云フコトヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○古井政府委員 今回ノ案ニ於キマスル委
員ノ制度ハ、從前ノ委員ト若干性質ガ變ツ
テ居ルヤウニ存ジテ居リマス、從前ノ委員
ハ規定カラ申シマス、財産又ハ營造物ヲ

管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル市ノ事務ヲ調
査シ、又ハ之ヲ處辨スト云フ職務權限ノ規
定ニ基キテ居ル譯デアリマス、隨テ場合ニ
依レバ、財産トカ營造物トカノ管理自體ヲ
委員ガヤル、或ハ市ノ事務自體ヲ或ル範圍處
辨スルト云フ風ナ事務自體ノ管理ニ當ルヤ
ウナ意味合ノ委員ノ制度ニナツテ居リマス、
併シナガラ此ノ委員ハ、實際上大都市等ニ
ハ餘リ適合致シマセヌ、寧ロ別個ニ專門的ナ
學識經驗ヲ以テ、必要ナ調査ニ當ル都ノ委
員ノ方ガ實際上ノ必要ニ屬スルヤウニ事柄
ガナツテ居リマスノデ、今回ノ委員制度ハ
專門的ナ學識經驗ヲ以テ必要ナ調査ニ當
ルシムル趣意ヲ以テ、委員ノ制度ヲ設ケテ居
ル譯デアリマス、ソコデ都會議會ノ議員ノ人
ガ委員ニナルカナレヌカト云フ問題デア
リマスガ、是ハ都會議會ノ議員デア
ルカト云フ意味合ハ、今度ノ委員制度デハナレ
ナイト思ヒマス、但シ學識經驗アル者デア
ルト云フコトニナリマスレバ、委員ニナルコ
トハ一向差支ヘナイコトデアラウト思ヒマ
ス、ソレカラ委員ノ運用ノ形デアリマスガ、
個別的ナ一人々々ノ委員ニナルモノカ、或
ハ合議體的ナモノニナルカト云フ點デア
リマスガ、是ハ事柄ノ必要ニ應ジテ、何レノ
形デモ用ヒ得ルト云フ考ヘデアリマス

○本多(市)委員 都參與ト委員ノ任期ト云
フモノガアリマスカドウデスカ、ソレヲ御
伺ヒシタイノト、ソレカラ最後デスカラモ
ウ一ツ御伺ヒシタイノハ、將來都會議會方
ノ重要事項ノ審議機關トシテ、現在市條例
デヤツテ居ルヤウナ議員ノ常時調査スル機
關、斯ウ云フモノヲ都條件ヲ以テ設ケラ
レテ、議員ノ常時ニ於ケル審議ヲ活用ス
ルト云フヤウナ御考ヘガアリマスカドウカ、之
ヲ序ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○古井政府委員 任期ノ問題デアリマスガ、
任期ハ都參與デアリマスレバ、都參與ニ關
シテ必要ナ規定ヲ定メマス場合ニ、任期ヲ
決メルコトハ、是ハ差支ヘナイト思ツテ居
リマス、決メナケレバナラヌト云フモノデ
モアリマセヌガ、決メテ差支ヘナイコトダ
ラウト思ツテ居リマス、ソレカラ委員ノ方
モ任期ヲ決メル必要ガアレバ決メテモ宜シ
イノデアリマスガ、必ズ決メナケレバナラ
ヌト云フモノデハアリマセヌ、此ノ點ハ必
要ニ應ジテ都長官ニ於テ定メルベキ事柄ト
考ヘテ居リマス、ソレカラ都會議會ノ議員ノ
常時ノ活動ヲ圖ル爲ニ、常設委員ノ如キモ
ノヲ條例デ設ケルト云フ問題デアリマスガ、
此ノ點ハ今回ノ制度デハ認メラレテ居リマ
セヌ、條例ヲ以テ都會議會議員ノ常設委員ヲ
設ケルト云フ制度ハ認メラレテ居リマセヌ、
左様御承知ヲ願ヒマス

○本多(市)委員 色々希望ヤ意見ハアリマ
スケレドモ、私ガ問ハントシテ、他ノ委員カ
ラ御問ヒニナラナカツタ點デ御伺ヒシタイ
所ハ、以上質問シタ點デ大體終了致シタ次
第デゴザイマス、次ニ最前委員長ノ下ヘ、
希望トシテ御願ヒヲ致シテ置キマシタ都制
ニ伴フ官制ノ大綱、詰リ官制制定ノ内務省
ノ御方針ト云フモノハ、公開ノ席上ニ於テ
是非其ノ大綱ダケハ御説明ヲ願ヒタイト存
ジマス、都制實施ノ曉ニ於ケル帝都行政ノ
實體ヲ規定スルモノハ、其ノ官制デアリマ
シテ、此ノ官制ニ付テ秘密會デハ多少ノ話
ガアツタニ致シマシテモ、何等公開ノ席上
ニ於テ御聲明ヲ戴ケナイト云フコトハ洵ニ
不安デアルト思ヒマスノデ、大綱デ結構デ
ゴザイマス、色々將來制定サレル上ニ於テ、

惡イ影響ガアルヤウナ問題ニ付テハ御避ケ
ニナツテモ結構デアリマスガ、是ト不可分
ノ關係ニアル官制ノコトデアリマスカラ、
例ヘバ都ノ官吏ハ委任官ガドレ位デ、判任
官ハドノ位、區ニハ官吏ガドウ云フ者ガ配
屬サレルカ、其ノ他都長官ノ管掌サレル事
務範圍等ニ付キマシテモ、今日警視廳ノ事
務ト都長官ノ事務ニ付テハ、非常ナ論議ガ
交サレテ居ルコトデアリマスカラ、ソレ等
ニ對スル御方針、明確ニ斯ウスルト云フコ
トハ發表サレニクイコトデアラウト思ヒマ
スケレドモ、大體ノ御方針ヲ是非御示シ願
ヒタイト思ヒマス、最前山崎次官ニモ御懇
談申上ゲマシタ所ガ、今日直チニ此處デ
發表シニクイコト云フコトデアリマシタ、御
相談モシ、相當研究サレル必要モアルコト
ト思ヒマスガ、ドウカ委員會ノ終了マデニ、
官制案ノ大綱ハ公表シテ戴キマスヤウニ、
此ノ機會ニ之ヲ最後ニ御願ヒ致シマシテ、
私ノ發言ヲ終リマス

○山崎政府委員 官制ノ問題ニ付キマシテ
折角色々御希望ノ點ガゴザイマスノデ、私
共更ニ研究ハ致シマスケレドモ、毎々申シ
マスヤウニ、是ハ種々手續ノ關係モゴザイ
マシテ、此ノ委員會ノ繼續中ニ果シテ御希
望ニ副ヘルカドウカ、非常ニ困難ノヤウニ
考ヘマスノデ、此ノ點モ豫メ御諒承願ツテ
置キタイト思ヒマス、相談ハ十分致シテ置
キマス

○清瀬委員長 山田君

○山田(竹)委員 大分私ノ御伺ヒシヨウト
思ツタ點ヲ同僚ノ方カラ御伺ヒ致シマシタ
カラ、極ク簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、
第二十二條ノ選舉期日前二十日目トアリマ
スガ、實際二十日間モ東京デ選舉運動ヲシナ

ケレバナラヌ程選舉ノ費用ト云フモノハナイコトデアリマス。是ハ今マデ吾々ガ選舉ヲヤツテ居ル體驗カラ申シマシテモ、ドウシテモ二十日ハ長イ、ホンノ地域ガ狭イノデアリマス。カ、恐ラク二週間ガ適當ダラウト云フコトヲ一般ニ申シテ居ルノデアリマスガ、是ハ十四日ニ變ヘル御意思ハアリマセヌカ

○古井政府委員 所謂選舉期間ガ何日デアツタラ適當デアルカト云フ問題ハ、色々議論ノアル問題ノヤウニ存ジテ居リマス、併シ府縣會ノ選舉、ソレカラ一般ノ市會議員ノ選舉ニ於キマシテモ、何レモ二十日ト云フ選舉期間ニナツテ居リマスノデ、獨リ都會ダケ十四日ニ置クト云フコトハ、其ノ邊ノ實例カラ申シマシテモ困難デハナイカト思ヒマス

○山田(竹)委員 地方ノヤウナ交通ノ不便ナ所ト、東京ノヤウナ狭イ所デ選舉スルノトハ相當趣キガ違フト思ヒマス。此ノ點ニ付テハ十分御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、更ニ二十三條ノ推薦屆デアリマスガ、此ノ推薦ト云フ意味ハ、今マデハ一人デ推薦スルノヲ言ツタノデアリマスガ、先般來推薦制度ト云フヤウナモノヲ置イテ、大勢ノ人ガ推薦スル、恐ラク此ノ項ニシカ嵌マラナイト思フノデアリマスガ、將來ア云フ弊害ガ多イト思ヒマス、中ニハ推薦ヲセラレナケレバ、色々ナル方面ノ御援助ヲ得ナケレバ當選ノ出來ヌヤウナ人モソレハアルカモ知レナイ、サウ云フ人ニハ極ク必要ナ項カ知レマセヌガ、サウ云フ選舉ノ干渉ヲシテ貰ツタリ、取締ヲ左右ニセラレタリシナクテモ、樂々當選スル人カラ言フナラバ此ノ位ノ不合理ナモノハナイノデアリマスカラ、之ニハ是非トモ末項ヘ持ツテ行ツ

テ、但書ニ二名以上協議ヲナス推薦人ヲ定ムルコトヲ得ズト一項ヲ入レテ戴キタイト思フノデアリマスガ、内務省ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○古井政府委員 推薦ノ届出ニ付テ二人以上協議スルコトヲ禁止スル規定ヲ特ニ都制案ニ挿入スル問題デアリマスガ、此ノ點ハヤハリ他ノ選舉ノ法規制度ト云フモノト照應シテ考ヘル必要ガアラウト思ヒマス。都制案ニダケ其ノ點ノ規定ヲ加ヘルコトハ是ハ困難デアラウカト思ヒマス

○山田(竹)委員 更ニ第二十四條ノ供託金デアリマスガ、二百圓ノ供託金トナツテ居リマス、此ノ供託制度ノ出來タノハモウ二十何年前ノ話デス、之ヲ拵ヘタ精神ハ恐ラク候補者ノ亂立ヲ防グ爲ニ拵ヘタモノデハナカラウカ、二十年モ前ノ二百圓ト今日ノ二百圓ハ一寸オ茶代ノ多イ位デハナイカト思フ、此ノ位ノモノデ候補者ヲ制限スルト云フヤウナコトハ到底出來ナイ、是ハ寧ロ二百圓デオヤリニナルナラコンナモノハ空文デアアル、手數ヲ煩ハスダケデアアル、少クトモ東京ノ都會議員、東京ノ市會議員、東京ノ府會議員ト申シマス、私等ハ恐ラク代議士ノ選舉ト餘リ違ハナイヤウニ思フ、總テノ方面ニ於テ代議士ト同ジヤウナ資格ノ積リテ議員ハ居ルノデアリマス、又選舉モサウ云フ心構ヘデヤツテ居ルノデアリマスカラ、少クモ今日トシテハ私ハ千圓位ハ當然デハナイカ、更ニ此ノ第二項ノ沒收點デアリマスガ、此ノ十分ノ一ト云フノハ殆ド空文デアリマス、是ハ少クトモ吾々ガ色體驗ヲシテ總テノ選舉ノ方面カラ眺メマスト、私ハ最低當選者ノ得票ノ二分ノ一、斯ウ云フ風ニ沒收點ヲ高クシテ金額ヲ多ク

スル、サウシナケレバ先ヅ定員ノ四倍、五倍ト云フヤウナモノガ出ル、元ハサウ云フコトハナカツタガ、此ノ頃ハ貨幣價值ガ落チテ參リマシタカラ、候補者ガ四倍、五倍デス、斯ウ云フヤウニ複雑ニナリマスカラ、是非トモ之ヲ改正シテ戴キタイト思ヒマスガ、御意見ヲ伺ヒタイ

○古井政府委員 供託金ノ規定ニ付キマシテ實際ノ御經驗等カラノ御意見デアリマスガ、此ノ地方選舉デ供託金ノ制度ガ設ケラレタノハ大正十五年デアツタト思ヒマス。相當ノ年月ガ経ツテ居リマス、其ノ點カラ見テ或ハ此ノ金額ガ少々低イデハナイカト云フ御議論、或ハ沒收點ガ少シ低過ギルデハナイカト云フ御議論モ一ツノ御議論カト思ヒマス、又一面ニハ寧ロ供託金ノ制度ハ撤廢シテ見タラドウカト云フヤウナ別箇ノ論モ、供託金ノ問題ニハ從來カラアル譯デアリマス、其ノ邊モアル次第デアリマシテ、今回ノ案ニ於キマシテハ他ノ選舉ノ例ニ倣ツテ二百圓ト云フコトニ致シテ居リマス、將來ノ選舉制度ノ問題トシテハ他ノ制度ト關聯シテ研究スベキコトデアラウカト考ヘテ居リマス

○山田(竹)委員 更ニ第七十條、都議會ハ定員ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズトアリマスガ、是ハ一般ノ會議ガサウナツテ居ルノデアリマスガ、殊ニ定員ガ減ツテ參リマス、意見ガ二ツニ分レタ時ニ往々流會ニナリ易イ、殊ニ少クナルト此ノ感ヲ深クスルノデアリマスガ、是ハ半數デナクテ三分ノ一ト云フヤウナ風ニ變ヘテ戴キタイト思ヒマス、吾々ハ市會デヨク體驗シテ居ル、百八十人ノ時デモ九十人ガ歸レバ會議ハ出來ナイコトニナリマス

ガ、大勢ニナリマス、ソレハ中々出來ナイゾデアリマス、數ガ少ナクナル程流會ニ陥ラシメル、所謂意見ガ對立スルト、敗ケサウニナルト直グ歸ツテシマフ、斯ウ云フノヲ防グ爲ニハドウシテモ會議ガ少クテ開ケル方法ヲ立テナケレバナラヌ、之ヲ是非三分ノ一ニシテ戴ク意思ハアリマセヌカ

○古井政府委員 都議會ノ開會ノ定足數デアリマスガ、此ノ點ハヤハリ都議會ノ運用ノ上ニ於キマシテ半數以上ノ出席ガアリマセヌト、是ハ理窟上モ三分ノ一或ハ四分ノ一デ會議ヲ開キ得ルト云フコトデハ無理ナ點ガアルカト思ヒマス、唯ドウシテモ半數得ラレナイ場合ニ於テ、急ナ事件ガアリマスカラ場合ニハ、又別箇ニ之ニ處スル途モアルコトデアリマス。原則ノ開會ノ定足數ハヤハリ半數ニ致シテ置クトガ適當デアルト考ヘルノデアリマス

○山田(竹)委員 更ニ第七十三條ノ指名推選ノ法ニ依ルコトデアリマスガ、此ノ指名推選ハ全員ノ同意ヲ要スルト書イテアル、併シ此ノ全員ト云フノハ中々ムヅカシイ、大勢ノ中ニ一人旋毛ヲ曲グルト此ノ指名推選ガ出來ナイ、尤モ多數黨ガ餘リ横暴ヲシナイヤウニト云フコトカラ行クト、是ハ極ク必要デアリマスケレドモ、全員ト云フノハ中々ムヅカシイ、ダカラ是ハ四分ノ三ノ同意ヲ得レバ宜イ、斯ウ云フヤウナ方法ニシテ戴キタイノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○古井政府委員 都議會ニ於テ選舉ヲ行フ場合ハ、投票ニ依ツテ之ヲ行フト云フノガ本則デアリマス、之ニ對シテ全員ガ異存ガナイ、意見ガ全部一致シテ居ル場合ニハ特例的ニ投票ヲ行ヒマセヌデモ、此ノ指名

推選デヤリ得ルト云フ途ヲ開イテ居ル譯
デアリマス、此ノ程度ノ條件ノ下ニ於テ特
別ナ選舉ノ方法ヲ執リ得ルコトニ認メルコ
トガ、最モ穩當デアルト考ヘテ居リマス
○山田(竹)委員 ソレカラ七十九條デス
ガ、衆議院ニハ除名處分ガアリマスケレド
モ、都議會ニハ除名處分ガナイヤウデス、
是ハ議員ヲ自肅セシムル上ニ於テ是非トモ
除名處分ト云フモノガ必要デアルト思フガ、
當局ハ如何デアリマスカ

○古井政府委員 是ハ他ノ地方議會ノ例モ
アルコトデアリマスシテ、將來ノ研究問題ニ
シテ、將來研究スルコトニシタイト思ヒマス
○山田(竹)委員 區ニ付テ御伺ヒシタイ、
先般ノ内務當局ノ御答辯デハ、區長ハ成ベ
ク老練ナ者ヲ出スノダ、若イ者ハヤライ、
斯ウ云フ御言葉デアリマシタガ、先般私が
申上ゲタヤウニ、今ノ大臣デアリ、今ノ次
官デアリ、今ノ地方局長デアラサウ云
フ風ニ參リマス、決シテ是ハ私疑ヒマセヌ
ガ、順ニ送ツテ行クト、其ノ精神ガ文書ニ
現ハレテ居ラスト實際其ノ精神ガ守ツテ行
カレナイ、警察署長アタリニ二十七、八ノ
若イノガ來テ、洵ニ困ツタコトノ體驗ヲ私
ハ持ツテ居ル、デアリマスカラ、若シサウ
云フ御精神デアラナラバ是ハ一ツ明文ニハ
ツキリシテ戴イテ、四十歳以下ノ者ハ區長
ニナルコトヲ得ズ、或ハ五十歳以下ノ者ハ
イカスト云フ風ニハツキリシテ貰ハスト、
アナタ方ノ心持ガ永久ニ傳ヘラレナイ憾ミ
ガアルト思ヒマスガ、是ハドウ云フ方法デ
オヤリニナルカ

更ニ區會ノ定員ノ問題デアリマス、是ハ
逐條ノ時ニモ少シ御伺ヒ致シタイト思ヒマ
スガ、區會ノ定員ヲ成ベク多クシテ、色々

ナ仕事ヲ區會議員ニ課スルコトニシテハ
ドウカ、此ノ非常時ニ色々ナ問題ガア
ル、例ヘバ入營ニシテモ、區會議員ハ入
營者ノ所ヘ皆祝詞ヲ持ツテ行ツテ居リマ
ス、議長代理トシテ祝詞ヲ持ツテ行ツテ
歡送文ヲ讀ンデ居ルノデアリマス、此ノ數
ダツテ召集ノ時ニハ大變ナモノデアアル、私
ノ本所區ハ八十餘箇町アリマスガ、各區ト
モ恐ラク同ジデアラウト思フ、斯ウ云フヤ
ウナ時ニ、區會議員ガ其ノ歡送文ヲ持ツテ
行ケナイヤウナ狀況デアアル、或ハ區民葬ヲ
ヤルトカ色々ナ場合ガアツテ、今ノ時局ト
致シマシテハ、中々今ノ四十四人ノ區會議
員デモ廻ハリ切レナイヤウナ情勢デアアルノ
デアリマスガ、此ノ定員ハ絕對ニ之ヲ以テ
通ス御積リデアアルカ、ドウ云フ御考ヘヲ持
ツテ居ラレカ、ドウ云フ譯デスウ云フ風
ニ——唯議員ヲ減ラセバ宜イト云フダケデ
アルカ、内務當局ガ議員ノ定數ヲ減ラスノ
ハ、丁度按摩ガ道ヲ歩クノニ、モウ此處ヲ
デ右ヘ曲ルノガラウト云フヤウナコトデオ
ヤリニナツタモノデ、何モ根據ガナイヤウ
ニ思フノデアリマス、モウ少シ目明キガ道
ヲ歩クヤウニシツカリシテ戴キタイ

○山崎政府委員 區長ノ問題ハ、昨日モ申
上ゲマシタヤウニ、第一線行政ノ非常ニ強
化ヲ必要トスル際デゴザイマスノデ、區長
ニ人物ヲ得ナケレバナラヌコトハ申スマデ
モナイ所デアリマス、隨ヒマシテ區長任命
ニ當リマシテハ、相當都ノ行政ニ付テ經驗
ヲ持チ、又識見ノアル相當ノ人物ヲ之ニ据
エタイト考ヘルノデアリマス、是ハ別ニ制
度ヲ定ムベキ性質ノモノデナイコトハ無論
ノコトデアリマスガ、單ニ現在ノ都制制定
當時ノ内務省ノ關係者ガ送リマシテモ、恐

ラク誰ノ時代デモ、第一線機關ノ重要性ニ
鑑ミマシテ、此處ニ若イ經驗モナイヤウナ
人ヲ据エルト云フコトハ考ヘラレナイ、斯
様ニ私共ハ存ズルノデアリマス、隨ヒマシ
テ只今ノ御心配モアリマスケレドモ、將來
ト雖モサウ云フコトハナイト云フ風ニ御考
ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニ區會ノ定員ノ問題デゴザイマスガ、
是ハ區會本來ノ仕事ノ内容或ハ性質カラ考
ヘマシテ、今回ノ定員ノ程度ヲ以テ十分デ
ハナイカト考ヘルノデアリマス、固ヨリ現
在ノ區會ノ關係者ノ方々ガ色々ト區内ノ事
柄ニ付テ御骨折リヲ願ツテ居ルコトハ十分
私共モ感謝シテ居ル所デアリマスケレドモ、
區會本來ノ仕事ノ内容カラ考ヘマシテ、此
ノ定員ヲ以テ十分デハナイカト云フ風ニ私
共トシテハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山田(竹)委員 區會ノ定員ニ付テハ、唯豫
算ガ少イカラ、會議スル回数ガ少イカラト
云フヤウナコトヲ仰シヤツテ居リマスガ、
先程モ申上ゲタヤウニ、配給或ハ入退營等
ノ問題ニ相當多忙ヲ極メテ居リマスカラ、
是ハ一ツ將來御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス
更ニ議員ノ數ヲ減ラスト云フコトガ、所
謂官僚獨善ト云フ昨日ノ誰カノ演說デハナ
イガ、兎角サウ云フ方ニ流レ易イ傾キガア
ルノデハナイカ、今日戴イタ資料ヲ見マシ
テモ、高等官ノ方ガコンナニ處分セラレテ
居ル、此ノ中ニハ高等官ニ等ノ方ガアルヤ
ウニ私共ハ聞イテ居ル、斯ウ云フヤウナ偉
イ方ガヤツテ居ルノデアリマスガ、其ノ下
ヘ行ツタラドンナモノカ、私等モ府會ニ關
係シテ居ツタ關係上、隨分投書ガ來マシタ、
其ノ全部ガ投書通リトハ私モ思ハナイ、中
ニハ虛偽ノ投書ヲスル人モ相當アルガラウ

ト思ヒマスガ、私等ノ所ニ持ツテ來ル投書
ハ實ニ山程アル、此ノ間モ市會ノ選舉デ、
警察ガ餘リ詰ラヌ取締ヲスルノデ、私ハ斯
ウ云フ演說ヲシタ、普段警察ガ能ク氣ヲ付
ケテヤツテ居ル所、アノ候補ハ金ヲ使フ、
アノ候補ハ使ハスト云フヤウニ能ク見テ居
ル警察ハ非常ニ成績ヲ舉ゲテ居ルガ、普段
料理屋ヤ後家サンバカリ監督シテ居ル警察
ハ思想ガ惡化シテオ門達ヒバカリヤツテ居
ルト言ツタラ、直グ辯士中止ト來タ、サウシ
テ翌日私ヲ言問署ニ呼出シテ、アア云フコト
ガアリマスカ、アリマスヨ幾ラモ、私ノ所ノ
署ニモアリマスカ、君ノ所ノ署ニアルトハ
言ハヌガ、警視廳管内ニハ幾ラモアル、私ハ
事ノ全部ハ申上ゲナイガ、斯ウ云フヤウナ
モノハ幾ラモアル、今日ハ何モ言ハナイガ、
出ル所ニ出レバ幾ラデモ言フカラト言ツタ
ラ、警察モ餘リ調べナイデ、結局始末書ヲ
書イテ歸ツテ來マシタ、實際下級ノ所デド
レダケ惡イ事ヲシテ居ルカ分ラヌ、斯ウ云
フノハ議員ノ耳ニハ能ク入りマス、ダカラ
議員ヲ多ク出スノハ差支ヘナイ、議員ガ十
人ヤ二十人多イカラト云ツテ何モ運營上ニ
ハ差支ヘナイ、私共ノ所ニ來ル投書ト云フ
モノハ大變ナモノデアアル、斯ウ云フ所ヲ私
ハ見テ、是ハ上ノ方ニモ相當アルガラウト
思ツテ、判任官ト高等官ノ調ヲ御願ヒシタ
譯デアリマス、イヤソレバカリデハナイ、
私ハ此ノ間差入屋ヘ行ツタリ、色々ナ方面
ヘ行ツテ調べテ來テ居リマスガ、マダ此ノ
數デハ私ハ満足ヲ致シマセヌガ、兎ニ角斯
クノ如ク一省ニ於テ高等官七人、判任官ハ
同ジ商工省デ九人、是ハ本當ニ現ハレタノ
デアツテ、オヒヒ官吏同土デハ中々之ヲ
檢舉スルノニ困難デヤナイカ、ダカラ是ハ

私ガ内務當局ニ要望シテ置キタイコトハ、
官吏ダケ取締ル警察ヲ是非トモ御作リニナ
ツテ戴イテ、サウシテ官紀紊亂シテ居ル所
ヲ肅正シテ戴キタイ、之ヲ要望致シマシテ、
私ノ質問ヲ打切りマス

○清瀬委員長 ソレデハ是ヲ以テ總論、各
論、質問ノ全部ヲ盡シマシタ、牛塚君ヨリ
議事ノ進行方法ニ付テノ御發言ガアル趣デ
アリマスカラ、此ノ際御願ヒ致シマス

○牛塚委員 是デ質問ガ終了致シマシタノ
ナラバ、私ノ申上ゲタイコトノ半分ハ濟ミ
マシタノデスガ、實ハ議員ノ質問竝ニ意見
ハ十分ニ盡サシテ戴キタイト思ヒマスガ、
唯進行上委員長ニ特ニ御配慮ヲ願ヒタイト
思ヒマシタコトハ、質問ハ成ベク事實ノ質
疑ニ止メテ、意見ハ意見デ別ニ開陳スル機
會ヲ御與ヘ下サルコトガ宜クハナイカト思
ツテ居リマシタガ、質問ガ濟ンダノナラ此
ノ點ハ解消シマシタ、モウ一ツハ委員長ノ
御計ラヒデ大分質疑應答ヲ重ネタコトデモ
アリマスカラ、ドウカ吾々ニ付託サレタ議
案審査ノ結論、結果ヲ各人ノ意見ヲ織込
ンデ如何ニ表現スルカト云フコトヲ、速記ヲ
取ラナイ懇談デ數回、委員ダケデモヤリ、
ソレカラ當局者ヲ混ヘテ一ツ結論ニ達スル
懇談會ヲ御開キヲ願ヒタイト思ヒマス、サ
ウシテ成ベク進行ヲ圖ツテ戴キタイ、此ノ
點ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○清瀬委員長 承知シマシタ、一寸速記ヲ
止メテ下サイ

〔速記中止〕

○清瀬委員長 ソレデヤ速記シテ下サイ、
都制委員會ハ本日ハ是ヲ以テ散會致シマス
午前十一時十六分散會